

# yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より  
パソコン室から 不定期 発行

No. 7

平成19年5月21日  
情報教育アドバイザー  
広田 さち子

## もう一つのパソコンスキル授業

スキルの授業では、「パソコンではどんな使い方があって、どんなことができるかを知り、どんな場面で何をするとときにパソコンが活躍しそうかが、自分の力でわかることが目標」と書きました。しかし、実はこれは、子どもたちだけの目標ではないのです。このことは、パソコンを使うすべての人に当てはまります。

何か作業をするときに、「あ、これはパソコンでやったらいいんじゃないかな」と思いつくことができれば、パソコンのスキルを覚えた意味があります。

大人の場合では、作業が先行していて、これをパソコンでやりたいんだけど、どうしたらできるだろうか、というケースが多いかも知れませんが、そこで新しいスキルを覚えれば、次に同じ場面に出会ったときに、使うことができます。

先生方で、スキルの授業にいらっしゃるときには、是非、こういう点も視野に入れて、子ども達のパソコンスキルを見ていただきたいと思います。

そして、もう一つ先生方をお願いしたいのは、そういったスキルを子ども達に教えるには、こんなふうにするのか、あるいは、もっとこうしたらいいんじゃないかな、これも教えておいた方がいいかな、また、これはこの学年でなくてもいいのかな、等と考えながら、スキルの授業を見ていただきたい、ということです。ご意見も頂戴できればうれしいです。

子ども達がどの位までスキルを身に付けているかを見極め、それを使ったら教科でこんな事ができるだろう、この段階でパソコンを使うことができるだろう、等、パソコン室でのスキル授業が生きる場面設定を子ども達のためにしていただきたいと思います。

できることなら、子ども達の方から、「これはパソコンでやりたい」という提案が出ると思います。いろいろな作業は、ほとんどの場合、パソコンでなくてもできることです。そういうときに、あえてパソコンを使いたい、というのは、きっと子ども達の中でパソコンが便利な道具になっている、ということです。

パソコンは、いつの間にか、インターネットの閲覧や、ネットショッピングか、ゲーム機のような使われ方しかされないようになってきています。

スキル授業を通して、子ども達に、パソコンが便利な、いろいろなことができる道具だということを伝えていきたいと思っています。